

### 第3回定時社員総会及び全体交流懇親会を開催しました。



【一柳理事長】

2026年2月24日(火)、当社団の第3回定時社員総会を開催いたしました。  
(26年2月現在正会員総数128名に対し、本日出席者数73名、議決権行使書の提出26名の合計99名の出席)

永峯専務理事の司会で進行され、一柳理事長から開会挨拶の中で、「考動」する社団を活性化するために、法人正会員に新たに特別およびプラチナを設けて会員メリットを充実させるとともに、会員数を250名までを目指して会員の皆さんに新規勧誘のご協力をお願いしたいと述べられました。また、入会に当たってはクオリティ維持のため面接審査を受けて頂く考えを示されました。

その後、池田事務局長から定足数の確認による総会成立の報告に続き、議長の一柳理事長の指名により専務理事が決議議案の一括説明を行いました。第1号議案(第3期事業報告及び計算書類の承認)、第2号議案(第4期事業計画及び収支予算の承認)、第3号議案(再任理事2名、新監事1名)、第4号議案(定款の一部変更)について説明後に一括審議され、出席者99名全員の賛成により定款一部変更の可決基準の2/3以上の賛同を得て決議されました。



【左から：大西理事 坪田理事 岩田理事 酒井監事 一柳理事長 斉藤理事 吉田理事 田和理事】

次に5つの重要な報告事項の説明に入り、最初に専務理事から法人正会員の新しい会員種別(特別・プラチナ)の詳細な説明がなされました。続いて、第1号調査研究活動(岩田委員会)において、進展している会員企業間でのAI活用のモデル構築について岩田理事からご報告がありました。また、第2号調査研究活動(八木委員会)において、人材育成プログラムの成果を上げた会員(いであ田畑社長と坪田ラボ坪田社長)から生の声を直接頂き、主査の八木参与が総括されました。最後に第3号調査研究活動「地域創生」に取り組む委員会の主査となる大西理事から26年度の計画についてご報告がありました。



【岩田理事】



【坪田理事】



【田畑氏】



【八木参与】



【大西理事】



【総会の様子】

総会終了後には、会場を移し 26 年度第 1 回全体交流懇親会が開催され、一柳理事長が開会宣言後に斉藤理事よりご挨拶を頂き、AI の進歩はとても激しい競争にあり、世界の AI 勢力図は米中の二国に集約される大変な事態が起こると危機感を示されました。続いて、新監事の坂口氏より就任挨拶を頂戴し、岩田理事より乾杯のご発声を受けて懇親会の幕開けとなりました。



【一柳理事】



【斉藤理事】



【坂口監事】



【岩田理事】

着席でのご歓談・お食事の後、イベントタイムに入り「会員の声」コーナーで、プラチナ会員への期待や調査研究会の提言を実装した成果や小規模交流勉強会の魅力について法人および個人 4 名の会員から本音の話を頂きました。続いて、懇親会初参加の「1 分スピーチ」および近況報告を総勢 14 名の会員から頂き、うち 5 名の方にスピーチ賞が当たりました。イベントの最後は出席者全員による恒例の「じゃんけん大会」に進み、一柳理事長との勝負で勝ち残った 3 名の方に景品が贈呈されました。



【会員の声】



【会員スピーチ】



【スピーチ優秀者へのプレゼント贈呈】



【じゃんけん大会】



【じゃんけん勝者へ景品贈呈】

終盤に入り、席を離れての交流タイムでは、皆さんが10テーブルの間を行き交いながらあちらこちらを巡り、今年から導入される新しいプラチナ会員の質問を受けるなど、会場は賑やかに盛り上がり、熱気は最高潮に達しました。参加者のお声を拾ってみますと、「毎回思うのですが、皆さんと会話を通じ内面からにじみ出る品格、経験やお人柄に触れることが大きな学びです」「調査研究のAIモデルや人材開発の具体的取り組みに感動しました」「社団の活動成果は目から鱗の学びだけでなく、素晴らしい方々と熱く交流させて頂ける機会がとても貴重です」等々。

気が付けば21時に中締めの日となり、田和理事から当社団発展を祈念して「一本締め」でお開きとなりました。(永峯記)



【懇親会の様子】



【田和理事】



【『一柳良雄が問う 日本の未来』のタイトルコールのポーズで記念写真】

【2026年度 役員の顔ぶれ】



坂口 禎彦 監事

大西 洋 理事

坪田 一男 理事

岩田 彰一郎 理事

酒井 弘行 監事

永峯 道男 専務理事

一柳 良雄 理事長

斉藤 惇 理事

吉田 真貴子 理事

田和 宏 理事